

情報公開文書

がん種別、健康診断の有効性の検討～全国がん登録情報(千葉県)を用いた研究

1. 研究の対象となる方

2013年1月～2015年12月にがんと診断され、地域がん登録(千葉県)に登録された方
2016年1月以降にがんと診断され、全国がん登録(千葉県)に登録された方

2. 研究目的・研究の方法

健康診断は、がんの早期発見に役立つと考えられています。特に、胃がんに対する上部内視鏡によるスクリーニングや肺がんに対する胸部レントゲン写真は、先行研究でその有効性が確認されています。しかしながら、膵臓がんに対する腫瘍マーカーを用いたスクリーニング検査など、一部のがん種においては有効性が確認されていません。また、現状の健康診断では、検査可能ながん種に限られ、それらの範囲外のがんの早期発見が難しい問題があります。本研究では、千葉県の全国がん登録情報を用いて、健康診断によって発見されるがん種にはどのようなものがあるかを記述し、がん種別、性別、年齢層別の健康診断の有効性を検討することを目的としています。

研究期間は、研究承認後、5年間(2029年3月31日まで)を予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2013年診断以降の全国がん登録システムに登録された千葉県の匿名化がん情報(匿名化がん患者基本情報含む)。個人を直接特定できるような情報は利用しません。

4. 全国がん登録の情報の利用

本研究では、がん登録情報の入手のために「がん登録等の推進に関する法律」に基づいて登録される「全国がん登録」情報を利用したいと考えております。

「全国がん登録」とは、日本でがんと診断されたすべての方のデータを、国で1つにまとめて集計・分析・管理する新しい仕組みです。この制度は平成28年(2016)年1月に始まりました。

「全国がん登録」では、お住まいにかかわらず全国どこの医療機関で診断を受けても、がんと診断された方のデータが都道府県に設置された「がん登録室」を通じて集められ、国のデータベースで一元管理されています。

詳しくは、がん情報サービス『全国がん登録とは』をご覧ください。

(<https://ganjoho.jp/public/institution/registry/national.html>)

(1)全国がん登録情報等の利用目的

本研究では全国がん登録情報を利用して、匿名化された対象のがん情報を取得し、健康診断によって発見されるがん種にはどのようなものがあるか調べ、がん種別、性別、年齢層別の健康診断の有効性を検討することを目的としています。

5. 研究が行われる機関および研究者名

千葉県がんセンター研究所 道端申明

6. 研究責任者

千葉県がんセンター研究所 道端申明

7. 個人情報の保護について

本研究では全国がん登録情報を利用して、対象のがん情報を取得しますが、個人を直接特定できるような個人情報は取得いたしません。

8. 研究の資金源および利益相反について

本研究は、文科省の科学研究費および千葉県等の研究費を用いて実施する予定です。当センター研究者の利益相反は、当センター利益相反委員会が適切に管理しています。

9. この研究は倫理審査委員会の承認が得られています。

本研究は当センター倫理審査委員会が承認し、病院長が研究実施を許可しています。

10. 遺伝子情報の開示について

本研究は遺伝子解析を行いません。従って、遺伝子情報の開示はありません。

11. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者 千葉県がんセンター研究所 道端申明

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2

TEL 043-264-5431(代表番号)